

個別最適な学びと協働的な学びの 一体的な充実について

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

授業改善

資質・能力の育成

一体的な
充実

授業外の
学習の改善

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達への支援

学習内容の確実な定着

学習を深め、広げる

必要に応じた
重点的な指導、
指導方法等の工夫

一人一人に
応じた学習活動・
学習課題の提供

各々の特性・学習
進度・学習到達度等

各々の興味・関心・
キャリア形成の方向性等

指導の個別化

学習の個性化

個別最適な学び (教師視点では「個に応じた指導」)

異なる考え方が組み合わせり
よりよい学びを生み出す

多様な
他者と協働

一人一人の
よい点・可能性

協働的な学び

クラスメイト

異学年・他校の子供

地域の人

専門家

これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

履修主義
の考え方を生かす

修得主義 個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視
の考え方を生かす

・集団に対して共通に教育を行う 一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含

※本資料は、「教育課程部会における審議のまとめ」(令和3年1月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会)に基づき、概念を簡略化し図等として整理したものである。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

資質・能力を育成するための単元（題材）を構想する

主体的・対話的で深い学びの実現



一体的な
充実



成果を生かす

成果を還元する

デジタル学習基盤（一人1台端末やクラウド環境等）の活用

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

深い教材研究

- 単元(題材)で育成する資質・能力を明確にしていますか。
- 児童生徒の深い学びを促し、教科の本質に迫る「単元を貫く問い」などを設定していますか。
- 児童生徒の思考の流れを想定した単元(題材)を構成していますか。
- 多様な個性・特性を有する児童生徒が存在することを前提として、授業において起こりうるつまずきとそれに対する支援を想定していますか。

個の見取り

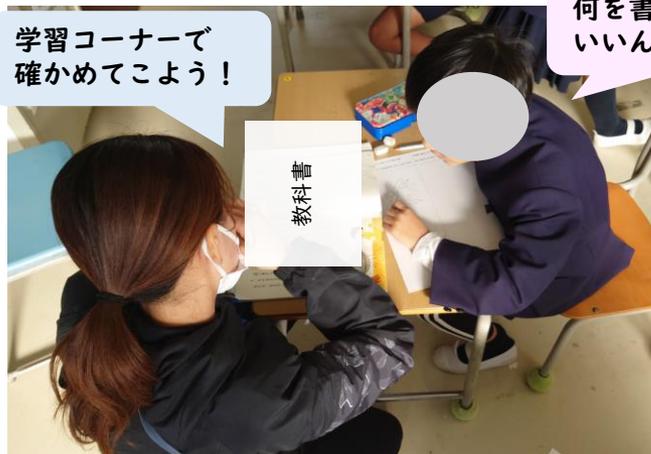
- 児童生徒一人一人の興味・関心や能力・特性等を把握していますか。
- 授業において、展開や振り返りの場面で、児童生徒一人一人の学習進度や学習到達度、つまずき等を把握していますか。(形成的評価)
- 単元(題材)の終わりに、児童生徒一人一人が単元(題材)で育成する資質・能力を身に付けることができたか把握していますか。(総括的評価)

個への支援

- 児童生徒が興味・関心や能力・特性等に応じて自ら教材・学習方法・ペース等を選択できる学習環境を整えていますか。
- 個別最適な学びの中で孤立した学びに陥らないよう、また、協働的な学びの中で個が埋没しないよう、児童生徒一人一人に適切な指導や関わりを行っていますか。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

登場人物の行動を具体的に想像するために
教科書から着目するところを
見つけようとしている児童



学習コーナーを活用して
考える児童



学習コーナー等を
活用して自分の
考えをもつ

みんなは、どんなところに
着目して書いているのだろう…。



他者参照により友達の見解を知り、
考えを深めている児童

友達の意見を参考に
再度、自分の考えを
深める

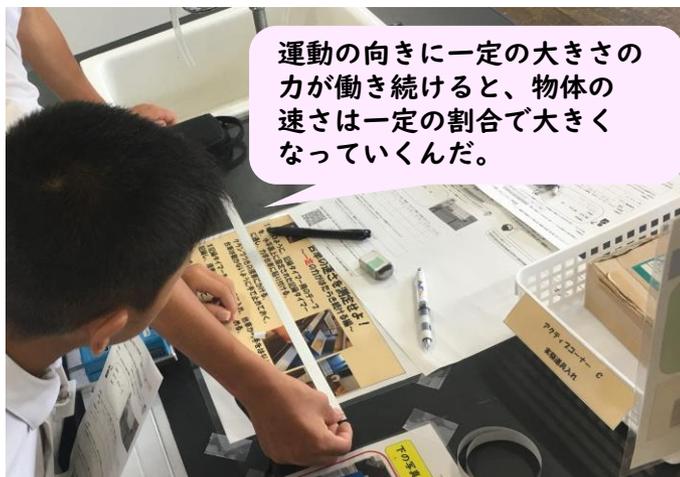
みんなの考えを知ったから、
少し書き直してみよう！
まずは、絵から加えよう。



再び自分の考えを見直している児童

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

仮説を立てて繰り返し実験する生徒



実験で得た学びを
生かして課題に
挑戦

学習コーナーにある課題



これまでの学びの
成果を説明する
ために、個人
で学びを整理

これまでの学びの過程を説明するために再度、自分の学びを整理し深める生徒



実験しながら議論する生徒